



間違いに
気づき戻る

父ヶ岳

△460.4

・264

?

・358

・328

150

父ヶ岳からの下りの分岐で180度違う方向に道迷い。しばらくして間違いに気づき、来た道を登り返し予定ルートに復帰した。

至：登山口

・232

この事例は、全く違う方向に進んでしまうパターンで、「なぜ？違う方向に進んでしまうのだろうか？」と思うのだが、道迷いの事例としてはよく見る。

人は思い込みによって行動をしてしまうこともあるし、全く地図の先読みをしていない場合、何も考えていないのでサクッと道迷いをしてしまうことがある。今回の事例はどちらの要因か分からないが、気づいてから、来た道を登り返したので少ないリカバリーで済んでいる。

ややもすると「下ればどこかに出るだろう？」と進む人もいる。「根拠のない行動」は、遭難への近道であり、遭難へのターニングポイントといえる。

普通に考えると、来た道を戻るので、尾根上を進まないといけなのだが、道の分岐から沢を下っているなので、これでは「あれっ？おかしい？」とすぐに気づくと思うのだが、道迷いの心理はそれを許してくれない。

この方は、地図アプリを利用されていたので、「あれっ？おかしい？」と気づいてから、恐らく地図アプリで現在位置を確認し、リカバリーされていると思われる。何を使ってもよいので道迷いでは「根拠のない行動」だけは避けてほしい。